

令和7年第5回瑞浪市教育委員会定例会会議録

(要点筆記)

日 時 令和7年4月28日(月) 13時30分開会

場 所 瑞浪市役所 4階 全員協議会室

日程第1 前回の会議録の承認

日程第2 本日の会議録署名委員の指名

日程第3 教育長諸般の報告

出席者

瑞浪市教育委員会

教育長

伊藤 慶 和

1 番

羽柴 誠

2 番

可児 恵 太

4 番

鈴木 圭 子

説明のため出席した事務局職員

事務局長兼学校教育課長

廣瀬 浩一郎

教育総務課長

梅村 やよい

職務のため出席した事務局職員

教育総務課長補佐兼総務係長

山崎 美 和

教育総務課長主事

山田 一 穂

欠席者

3 番

柴田 洋 子

教育長

13時30分、本日の教育委員会定例会の開会を宣言する。

—市民憲章朗誦—

教育長

日程第1、前回の会議録の承認を行います。  
会議録は、1番 羽柴誠委員 と 2番 可児恵太委員 を会議録署名委員  
に指名しております。  
承認の署名をお願いします。

—会議録承認署名—

教育長

日程第2、本日の会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は、教育長において、 1 番 羽柴誠委員 と 2 番 可児恵太委員 の 2 名を指名します。

教育長

日程第 3、教育長諸般の報告に移ります。

インフルエンザやコロナ等、感染症に関する報告はありません。大きなけがについても報告はありません。

3 月 28 日に、部活動の地域展開に関わる協議会を実施しました。内容は、地域展開についての理解と地域展開に向けてのスケジュールの確認でした。協議会の中では、保護者クラブの抱えている課題がいくつか出てきました。指導者の確保、活動予算の支援、対象は中学生だけかそれ以外も入るのか、スポーツを楽しみたいクラブと優勝を目指して頑張りたい子どもが集まるクラブと考えられるがどうするか等々、様々な角度から意見が出ました。内容を取りまとめ、今後の方向性を考えているところです。

4 月 1 日の庁議で今年度は、瑞浪の教育の原点を見つめ直す必要があるということ話をしました。平成 18 年の出来事について、職員も変わり、徐々に記憶から薄れてしまっている現状があります。しかし絶対に忘れてはいけない出来事です。二度と悲しい思いをする子をつくらないためにも、市内の全教職員がもう一度原点に立ち返って教育を進めていきたいと話しました。また、施設面では、土岐小学校の校舎及び屋内運動場の改修やタブレットの更新、学校給食センターの設備更新など、充実させることになります。学校教育の面では、コロナ禍以降増加している不登校児童生徒や不登校傾向にある子ども達への対応をしっかりとしていくこと。同時に、安心安全をキーワードに、南海トラフなど地震への備えや感染症、熱中症等に対する危機管理の意識を高めていくことも大事にしたいと話しました。複式学級が陶小学校と釜戸小学校においてスタートしました。県の教育委員会からも手厚い配慮をいただき、スムーズなスタートが切れています。また、ICTを活用して授業を進めていますが、あくまでもタブレットは学習の道具であると考えています。書く力を適切に取り入れる必要があり、また、視力の低下について心配だと思っています。実態を把握しながら効果的であり適切な活用をし、確実に教科の力を身に付けるよう取組を進めていきたいと思っています。コミュニティスクールが昨年度から全小中学校でスタートしています。今年度もさらに進めていきたいと思っています。主権者教育について、市議会と連携して中学校 3 校で進めていく予定です。

10 日の校長会、11 日の教頭会においても庁議と同様の話をしました。

15 日に、瑞浪市初任者研修会を実施しました。本年度の初任者は 3 人。それぞれ瑞浪小、瑞浪中、瑞浪北中の 3 校に勤めています。大変元気で、明るく、さわやかな 3 人でした。学校の職員が優しくいつでも相談に乗ってくれることや子どもたちが目を見てきちんと挨拶をしてくれること等、とてもいいスタートが切れていると話してくれました。

以上、教育長諸般の報告とします。

教育長

本日の定例会には議題が提出されておきませんので、これをもちまして令和 7 年第 5 回瑞浪市教育委員会定例会を閉会します。

13 時 40 分 終了